

令和6年度第1回帯広警察署協議会議事概要

1 開催日時

令和6年6月20日(木) 午後4時00分から午後5時00分まで

2 開催場所

釧路方面帯広警察署 大会議室

3 出席者

(1) 協議会委員 9人 (定員12人)

会 長	田 村 修 一							
副 会 長	馬 場 久 男	石 水 弘 美						
委 員	神 田 哲 也	眞 野 尚 史	本 田 千 枝 子					
	樂 山 勝 則	安 部 昭 彦	佐 藤 恵 津 子					

(2) 警察署員 7人

署 長	工 藤 博 光
副 署 長	浅 井 孝 広
刑事・生活安全官	佐 藤 英 之
地域官兼地域課長	高 見 昌 志
交 通 官	大 山 敏 弘
警務官兼警務課長	毛 利 政 己
警務係長	

4 協議内容等

- (1) 令和5年中及び令和6年4月末までの業務概況について
- (2) 要望意見等に対する説明

5 質疑応答

(1) 令和5年中及び令和6年4月末までの業務概況について

【委 員】 犯罪の発生状況等について伺いたい。

【警 察】 刑法犯の認知件数は令和5年は過去3年とほぼ同数の認知件数でした。
また検挙率についても、70%前後で推移している状況で、今後も発生抑止
検挙活動を強化します。

【委 員】 特殊詐欺の発生状況等について伺いたい。

【警 察】 現時点の認知件数については全道で約20件で被害額が約5千万円で、
ニュース等で話題のSNS投資詐欺・ロマンス詐欺の認知件数については
全道で約60件発生しており、被害総額も10億円を超えています。

【委 員】 交通事故の発生状況等について伺いたい。

【警 察】 負傷者のいない交通事故については過去5年とほぼ同数でしたが、昨年は

負傷者がいる人身事故が令和4年と比べると倍近くの発生件数となりました。

交通事故の死者については統計を開始してから最少人数でしたが、本年に入って既に3名が交通事故が原因で亡くなっていることから、事故防止に向けた様々な活動を推進していこうと思います。

(2) 警察業務に関する質問・意見・要望に対する質疑

【委員】 帯広市では、少子高齢化と核家族化が進行している中、人口は減少しているものの世帯数が増えている状況にあります。

また、世帯の家族構成としては高齢者の独居または高齢者の夫婦のみといった世帯が増え、こうした高齢者世帯が亡くなることによる空き家の発生も珍しいことではなくなってきました。

加えて年金支給開始年齢の引き上げ等により、高齢者が一日を通して就労することを求められるなど、かつてあった地域を見守る「目」や「力」が低下することで、犯罪や交通違反・事故の抑止力の弱まりが懸念される場所です。

こうした状況は帯広市に限らず、帯広警察署管内の自治体にも共通することと思うところですが、「地域の見守り力」の維持や低下の抑制に資するような取組について、警察署のご意見を伺いたい。

【警察】 犯罪や交通違反・事故を抑止するため、警察においては、地域住民等で結成された防犯や交通ボランティアと連携した取組を推進していますが、委員ご指摘のとおり、人口減少、少子高齢化の進行等により、各地域の防犯ボランティア活動等を担ってきた高齢者層の更なる高齢化や、次世代への承継が困難であるといった課題もみられるところでもあります。

このため、近年は、学生や企業等による活動にも注目がなされ、警察においては、活動の周知を図る広報や情報提供といった様々な支援を行っているところでもあります。

このような中、6月11日、忠類地区において駐在所の呼びかけにより、地元企業とシニアクラブの合同による詐欺被害防止のための防犯ボランティア団体が結成されました。

それぞれのネットワークを活かし、地域住民に注意喚起を行なっていくというものであります。

こうした地元に着目した地域住民の活動が広がっていくことが、委員のおっしゃる「地域の見守り力」の維持につながるものと考えております。

【委員】 帯広警察署は、全国で最も広い管轄エリアを有し、管轄内人口も道内で5番目に多く、署員の方々は日々、交通事故や事件対応、安全相談、警備事案、許認可事務等々、警察業務が多岐にわたる中、各種事案も多様化・複雑化しています。

その一方で、マンパワーや資機材等は有限であり地域の警察力の維持・向上なくしては、近い将来、地域の安全・安心に不安がよぎることになると思うところではあります。

そのため、帯広警察署の特殊性を鑑みつつ、地域の警察力を維持・向上

させていくには、こういったことが効果的、有益かについて、警察署の意見を伺いたい。

【警察】 限られた人的リソースの有効活用の観点から、地域警察の機能を最大限に発揮した効果的な予防検挙活動が行われるよう、地域警察官の機能を十分に発揮するための方策について検討しているところであります。

その検討結果を踏まえ、地域警察活動の在り方等について点検し、犯罪多発時間帯・場所におけるパトロール活動、積極的な職務質問、住民のニーズに沿った街頭警察活動を強化するほか、専務係との効率的な役割分担の観点から地域警察官の役割を整理するなど、メリハリのある地域警察活動を推進する必要があります。

帯広署においては、犯罪の発生状況等を踏まえながら、効果的な人員配置を行い、また、市内に限らず、遠隔地交番や駐在所に対しても、必要に応じて必要な人員を投じたり、隣接交番・駐在所と連携を図るなど、限られた人員で広大な管内で発生する様々な警察事象に適切に対応できるよう努めているところであります。

まずは、社会情勢の変化やそれに伴う治安情勢の変化を踏まえ、創意工夫を凝らした業務改善により、前例踏襲を排した業務の効率化・合理化を図っていくことが重要と考えております。

【委員】 警察として、自動運転における交通事故防止に向けた取組や考え方などを伺いたい。

【警察】 現在、公道実証実験中の自動運転については、道路使用許可基準に基づき、公道実証実験が安全かつ円滑に行われるよう、引き続き警察から適切な指導や助言を行ってまいります。

【委員】 常習的に迷惑駐車している車両に対する対応について伺いたい。

【警察】 場所等の確認をした上で対応をとる必要があるのですが、お手数ですが発見した都度、警察へ連絡をお願いします。

【委員】 中札内市街地は、高規格道路から国道に向けて制限速度を守らない車両が多いことから、警察で何か対策をとることは可能か伺いたい。

【警察】 現場を確認し、速度取締等の必要な対策を講じます。

警察では様々な場所の交通安全対策を実施していますが、この様に住民の方々からの貴重な情報が事故防止につながるので、今後も情報提供をお願いします。

【委員】 高齢者が運転免許の返納を考える際、「いつまで運転するのか。」ではなく「いつまで運転できるのか。」等といった相談ができる窓口があるのか伺いたい。

【警察】 運転に不安がある方やそのご家族に対しましては、帯広運転免許試験場のほか、帯広警察署で安全運転相談を受け付けています。

また、安全運転相談ダイヤル「#8080（シャープハレバレ）」では、電

話で相談を受けておりますので、引き続き周知を図ってまいります。

【委員】 春にかけて道路に穴ぼこが目立ち道路管理者はその都度応急措置をしていますが、対応が遅れる場所もあります。

このような危険箇所に対する道路管理者と警察の連携について伺いたい。

【警察】 パトロール等の際に、道路の危険箇所を発見した場合には、道路管理者へ連絡するなど、必要な措置をとっています。

道路の維持管理については道路管理者なので危険箇所を発見した際は、道路管理者への通報をお願いしていますが、国道以外の都道府県等が管理する道路については、夜間・土・日・祝日は早急に対応できない場合もあり、道路管理者が不明な場合には警察署に連絡をいただければ、調査の上、道路管理者への連絡やが到着するまでの規制等、必要な対応をしますので、よろしく願いいたします。

【委員】 来月に新紙幣に替わりますが、これに関係する詐欺等の情報があれば伺いたい。

【警察】 当署管内で新紙幣に関連する事件は認知していません。

新紙幣をめぐる事件情報等があれば積極的に広報活動を行い、発生抑止に努めてまいります。

6 次回開催予定

令和6年11月中を予定している。